朝日新聞　2021年7月30日（金）

興国 6回に集中打

八尾―興国　六回裏2死一、二塁、興国・渡部の中前適時打で二塁走者池上が生還＝シティ信金スタ、安井健悟撮影

八尾惜敗 公立勢姿消す

◇シティ信金スタ（舞洲）

▽準々決勝

八尾	000	000	000	0
興国	000	003	00×	3

㊣…興国が後半に集中打で挙げた3点を守りきった。六回、小園、中村の2者連続三塁打で先制。その後も池上、渡部が適時打を放ち、一気に3点を奪った。大江は被安打5、奪三振12の完封。八尾は再三得点圏に走者を進めたが、打線がつながらなかった。

狙い球絞って3安打

八尾・殿井来河君

3点を追う九回表1死、八尾の4番、殿井来河（らいが）君（3年）に打順が回ってきた。前の打席はインコースのスライダーを見逃して三振。「この打席もスライダーで攻めてくるはず」。狙い球を絞った。初球は空振りしたが、2球目のスライダーをたたくと、内野安打となった。

打線がつながり、2死一、二塁に。打席には代打の西俣壮君（3年）。殿井君は自分が生還すると信じて、声を張った。「絶対打てるぞ。振り切れ」。打球は遊撃手の正面に。最後の夏が終わった。

昨夏の大会で、コールド勝ちを目前に代打で出場した。しかし、殿井君が当日のメンバー表に登録されていなかったことが判明し、没収試合となった。

このトラブルは、大会前にけがをしていた殿井君が急きょベンチ入りしたことで起こった。「先輩の夏を終わらせてしまった」。しばらく後悔し続けた。

先輩たちは「切り替えて頑張るしかないやろ」と言葉をかけてくれた。再び前を向いて野球に臨めるようになった。

この日は4打数3安打。チームは公立校として最高のベスト8に入った。

「『楽しかった』と言って終われるように試合に臨んできた。悔いはありません」。明日からは本格的に受験勉強を始める。野球部の先輩がいる関西の国立大を目指し、そこで野球を続けるつもりだ。（安井健悟）

	【八尾】	打	安	点
〔右〕	嶋崎	3	0	0
〔遊〕	長谷川	2	0	0
打	土庵	1	0	0
遊	倉田	0	0	0
〔二〕	鷹橋	4	0	0
〔中〕	殿井	4	3	0
〔左〕	白崎	3	0	0
〔三〕	山口	4	1	0
〔一〕	深渡瀬	3	0	0
打	西俣	1	0	0
〔投〕	前田	1	0	0
投	長尾	1	1	0
〔捕〕	神園	2	0	0
振球犠併残	12 2 3 0 7	29	5	0

	【興国】	打	安	点
〔中〕	小園	3	1	0
〔二〕	中村	3	1	1
〔遊〕	山田	4	0	0
〔右〕	池上	4	2	1
〔一〕	宮内	3	2	0
〔三〕	大森	3	0	0
〔左〕	渡部	4	1	1
〔捕〕	山下	3	1	0
〔投〕	大江	2	0	0
振球犠併残	6 2 3 0 7	29	8	3

投手	回	安
前田	5	4
長尾	3	4
大江	9	5

〔三〕小園　中村　〔二〕宮内　長尾　〔盗〕八1　興1　〔暴〕興1　〔失〕八2　興1